様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第１学年 第２学年 第３学年	数学・728 数学・828 数学・928	新編 新しい数学１ 新編 新しい数学２ 新編 新しい数学３
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　数と式 第１学年では、ペットボトルキャップの総数を求める等式に値を代入して両辺を比べる活動、第２学年では、バスケットボールのシュートの本数を求める方程式を立てて解を調べる活動、第３学年では、一定の長さのロープを使って作った長方形の花壇の面積と辺の長さの関係を考える活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　図形 第１学年では、合同な三角形を敷き詰めて描かれた模様から２つの三角形に着目して移動の様子を考える活動、第２学年では、２つのリボンを重ねたときにできるいろいろな四角形はすべて平行四辺形であることを考察する活動、第３学年では，三平方の定理が成り立つことを、パズルを操作して確かめる活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている、 ○　関数 第１学年では、一定の速さで歩くときの時間と道のりなどの伴って変わる２つの量の関係を調べる活動、第２学年では、水を熱し始めてからの時間と温度の関係を考える活動、第３学年では、ジェットコースターが斜面を上る場合と下りる場合の時間と距離の関係を考える活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　資料の活用 第１学年では、校外学習の際の班別の自由行動のルートにおける所要時間をまとめて傾向を読み取る活動、第２学年では、ペットボトルのキャップを投げて表向きになる回数の確率を考察し表現する活動、第３学年では、テレビ番組の視聴率について、標本の傾向を調べて母集団の傾向を読み取る活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 第１学年では、比例について条件を満たす式を立てる活動、第２学年では、直線が交わったときにできる角の大きさを求める活動、第３学年では、平行な２直線間の長さを求める活動など、補充的な学習活動を取り上げている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 第１学年では、いろいろな数量を文字を使った式で表す活動の後に、数量の関係を等号や不等号を使った等式や不等式で表す活動を取り扱い、第２学年では、２つの三角形が合同になるための条件を考える活動の後に、二等辺三角形の底角の性質や条件を考える活動を取り扱い、第３学年では、$y=ax^2$ の関係で表される２つの数量の関係を式に表す活動の後に、２つの数量の関係を式とグラフを使って考える活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 第１学年～「数と式」は 96 ページ、「図形」は 66 ページ、「関数」は 36 ページ、「資料の活用」は 21 ページであり、総ページは 289 ページで、前回より約 8%増となっている。 第２学年～「数と式」は 46 ページ、「図形」は 66 ページ、「関数」は 36 ページ、「資料の活用」は 19 ページであり、総ページは 231 ページで、前回より約 7%増となっている。 第３学年～「数と式」は 82 ページ、「図形」は 78 ページ、「関数」は 30 ページ、「資料の活用」は 13 ページであり、総ページは 275 ページで、前回より約 6%増となっている。			
使用上の配慮等	○　本文中に、学習内容に関連した話題を取り上げた「数学のまど」などを設ける（全学年）とともに、巻末に、授業で切り取って調べたり組み立てたりして活用できるような作業用の厚紙を設ける（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「Q」マークの横に、活動のねらいを示した「考えてみよう」「説明してみよう」などのフレーズを設けたり、本文中に、学習の定着状況に合わせて選択して取り組むことができる「もっと練習」を設けたり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　巻頭に、授業や家庭における学習の方法などを表した「学習の進め方」を設けたり（全学年）、「数学マイノート」において、生徒の発達の段階に応じたノートの作り方を示したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、「日本の最低気温を記録した旭川市」など、10 箇所取り上げられている。 ○　全ページにわたって文節改行を取り入れ、生徒が読みやすい紙面づくりを行ったり、配色に配慮したユニバーサルデザインへの対応を考慮したりするなど、工夫している。 ○　目次において関連する主な小学校算数の学習内容を示し、内容の系統が分かるようにしたり、「数学マイノート」などにおいて、小学校算数の内容を扱ったりするなど、小学校算数との連携を図っている。			